

令和7年度 相楽園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	本市公園で唯一の近代日本式庭園として、歴史ある建物や季節に応じた植栽を構え、来園者に趣のある憩いの場を提供する。
(2)事業内容	・近代日本式庭園にふさわしい植栽管理(クロマツの剪定、和の植栽などに配慮) ・施設及び設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等 ・地域、ひいては市民の文化的な核をめざすために多様な事業の展開 ・旧小寺家厩舎、旧ハッサム邸、船屋形、相楽園会館の管理者と連携した維持管理、運営管理 ・本市の主要な集客施設として、広範囲からの来園誘致 ・来園者の増加と顧客満足度の向上 ・市民との協働事業の展開
(3)施設内容	面積1.4ha 管理事務所、茶室(浣心亭)、トイレ等 (管理対象外施設)旧小寺家厩舎、旧ハッサム邸、船屋形等

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸市造園協力会・神戸市公園緑化協会グループ
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間)
(3)選定方法	非公募 (非公募事由:専門的かつ高度な技術を有する者が客観的に特定される場合)
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)41,030,000円 (決算額)41,001,800円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績									
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	日常点検を中心に四半期ごとの点検もきちんと実施されており、期待した水準を満たした施設の維持管理を行っている。また、イベントシーズン時(つつじ、もみじ等)においても来園者が満足できるよう、植栽管理・整備(危険木伐採など)についても、適切に行っている。									
②施設の運営業務	各種イベント等の実施による公園の活性化や、お客様からの意見を踏まえた施設運営向上に努めている。また、シーズン時(つつじ、もみじなど)には開園時間を延長するなど来園者獲得に向け取り組んでいる。近年では、日本人客に加え、日本庭園の鑑賞を目的とした外国人観光客の入園者も増加しており、期待した水準を満たした施設運営を行っている。									
③自主事業等	自動販売機、パンフレット・ポストカード販売のほか、季節に応じた催し(茶会や各種教室、和菓子販売等)を実施。									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入園者数 (算出方法:評価対象期間中の入園者の総数)									
	目標 (提案)	90,000人	実績	114,231人	達成	要因	秋の紅葉シーズンなどを中心に、日本人客に加え、日本庭園の鑑賞を目的とした外国人観光客の入園者が増加した。			
②各種事業の参加者数	▼ つつじ遊山 (概要:つつじの開花に合わせてコンサート、茶席等を開催)									
	目標 (R6)	18,723人	実績	24,636人	達成	要因	神戸新聞・産経新聞につつじの記事が掲載されたこと、神戸新聞に手作り市やジャズライブの記事が掲載されたことで、多くの参加者が集まった。			
	▼ にわのあかり (概要:7月26日(土)、27日(日)に園内で様々なライトアップを行い、コンサート、子供向けのイベントを開催)									
	目標 (R6)	2,638人	実績	1,852人	未達成	要因	近隣市での花火大会と日程が重なったことにより、参加者が集まらなかった。			
	▼ 秋めく相楽宴(概要:紅葉の園を背景に、コンサート、茶席、手作り市、夜間開園等を開催)									
	目標 (R6)	21,981人	実績	30,231人	達成	要因	園内の紅葉が広く認知されてきた中、天候に恵まれた日も多く、外国人客を入園もあり、多くの参加者が集まった。			
(3)収支状況										
①使用料収入	目標	12000 千円	実績	21836 千円	達成	要因	特に、春のつつじ遊山や秋の紅葉シーズンなどを中心に、目標を上回る多くの来園者数を獲得できた。中でも、日本人客に加え、日本庭園の鑑賞を目的とした外国人観光客が入園者数を押し上げ、使用料収入は目標を超過。			
②収支バランス(税抜)	収入		40489 千円	支出		43466 千円	収支の差	-2977 千円	目標	達成
	内訳	指定管理料	37274 千円	内訳	人件費	14986 千円	その他	2713 千円	収支は赤字も、主に人件費(最低賃金上昇)や物価高騰等による影響(管理費、イベント費等増加)が大きいこと、また多くの来園者獲得により使用料収入は目標額を達成していることから、達成と判定。	
		自主事業	1357 千円		設備管理費	2720 千円				
		その他	1858 千円		外注費	12427 千円				
					イベント費	5202 千円				
					光熱水費	3334 千円				
					事務経費	2084 千円				

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年12月6日～令和8年1月17日(計43日間)				
	調査方法: 園内等の利用者に対して、調査員による聞き取り調査				
	回答者数: 70人				
	設問数: 18問				
	主な質問項目: 施設の利用目的、利用回数、利用人数、利用時間、清掃状況、スタッフの対応、利用者満足度、自由意見				
②結果(満足度)	▼ 営業時間の満足度 (算出方法:「満足」から「不満」の5段階評価について、「満足」×2+「やや満足」×1.5+「普通」×1+「やや不満」×0.5)÷全回答数×100÷2で満足度を算出)				
	目標	82%	実績	86%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、季節のイベント開催時(つつじ、もみじ等)や繁忙期に併せて、臨時開園や開園時間延長を行ったことにより、多くの来園者に満足いただけたと推察される。				
	▼ 設備の状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	84%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、日常点検を中心に四半期ごとの点検もきちんと実施されており、設備の維持管理を適切に履行できていたと推察される。				
	▼ 花壇等の整備・管理の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	91%	達成 要因
	満足度が9割以上を占めていることから、日常管理に加え、イベントシーズン時(つつじ、もみじ等)においても来園者が満足できるよう、植栽管理・整備をきちんと行っていたと推察される。				
	▼ 案内表示の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	86%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、通常のガイドマップに加え、多言語のセルフガイドマップを配布するなど、幅広い層に対して園内をわかりやすく案内できていたと推察される。				
	▼ 清掃状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	93%	達成 要因
	満足度が9割以上を占めていることから、日々の清掃を中心に園内を綺麗に保てており、日本庭園の雰囲気を引き立てるよう適切に清掃が行き届いていたと推察される。				
	▼ スタッフの対応の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	94%	達成 要因
	満足度が9割以上を占めていることから、職員研修(利用者の要望記録ノートを全職員に共有など)に加え、お客様からの意見集約にも注力していることから、満足度の高い接客ができていたと推察される。				
	▼ レストラン・物品販売の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	78%	未達成 要因
	目標を下回るも満足度が8割近くを占めていることから、パンフレット・ポストカード販売、和菓子販売や季節の弁当販売など、来園者に一定の満足度のある食事・物品提供ができていたと推察される。				
③主な意見・苦情、対応	一部意見(トイレの数を増やしてほしい)などはあったが、大きな苦情等は特段なかった。職員研修(利用者の要望記録ノートを全職員に共有など)やお客様からの意見集約にも力を入れており、日々の業務の中で顧客満足度向上に向けた取り組みができていたと推察される。また管理面においても、日々のモニタリングを通して、安全管理・危険木伐採なども行っており、「神戸まちなかの庭園公園」としてのコンセプトの下、四季に応じた庭園の美や魅力を引き出せるように努めた。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	提案値等の実績が1.2倍以上1.5倍未満であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	45 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	45
(2)利用状況	25 点	1.2 (提案をやや上回る)	30
(3)収支状況	25 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	25
(4)満足度調査の結果等	5 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	5
			評価点の合計
			105 点
			総合評価
			AA

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点，【AA】120～101点，【A】100～81点，【B】80～61点，【C】60点

令和7年度 森林植物園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	六甲山の山なみと自然を背景に、針葉樹を植栽し、四季を彩る落葉樹や花木をそえる樹木植物園として、博物館相当施設・社会教育施設の役割を果たす。
(2)事業内容	・設立趣旨「自然を最高度に活用し、植栽形態も単に見本園形態を採らず、植物生態学の原則に則り植物本然の形姿聚落を採らせることを主旨とする」に基づく、多様な事業展開 ・森林の生態系を維持するための長期的な視点で策定された展示林保全管理年次別計画に基づいた園地管理 ・環境への配慮対策の推進 ・博物館相当施設として、種苗交換、学芸員の研修受入、貴重種保護などの実施を含めた管理運営及び園内外への展示や情報提供による森林文化の普及・啓発 ・施設の魅力アップや活用を図り、利用者へのサービス向上 ・広範囲からの来園誘致 ・来園者の増加と顧客満足度の向上 ・市民との協働事業の展開
(3)施設内容	面積:142.6 ha 森林展示館(管理事務所含む)、展示林区の樹種約1,200種(日本産樹林区、アジア産樹林区、北アメリカ産樹林区、ヨーロッパ産樹林区、見本園、アジサイ園、サクラ園、ツツジ・シャクナゲ園、国際親善の森<シアトルの森、天津の森、リガの森、ブリスベーンの森等)、学習の森、スポーツ広場、多目的広場、芝生広場、動物舎(カモシカ、ウサギ)、長谷池、食堂等

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	公益財団法人神戸市公園緑化協会		
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間)		
(3)選定方法	非公募	(非公募事由:専門的かつ高度な技術を有する者が客観的に特定される場合)	
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)151,710,000円	(決算額)156,063,360千円	

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績								
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	日常点検を中心に四半期ごとの点検もきちんと実施されており、期待した水準を満たした施設の維持管理を行っている。また、広大な施設の各種エリアにおいても来園者に満足してもらえるよう、植物管理・整備（危険木伐採など）についても適切に行っている。									
②施設の運営業務	各種イベント等の実施による公園の活性化や、お客様からの意見を踏まえた施設運営向上に努めている。シーズン時（つつじ・しゃくなげ、もみじ等）に開園時間延長を行い来園者獲得に向け取り組んでいるほか、警備配置の強化にも力を入れるなど、安心安全な施設運営に努めている。また、入園料の各種減免も用意するなど幅広い層に満足してもらえるよう努め、期待した水準を満たした施設運営を行っている。									
③自主事業等	自動販売機、売店、食堂を運営。また、その他の活動として、植物園の特性を活かした体験型プログラム（自然観察講座、ヨガ教室、クラフト教室等）や市民との協働による環境活動等も実施（ウェルネスウォーキング、森林浴ヨガ、ピクニックイベント、探鳥会等）している。									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入園者数（算出方法：評価対象期間中の入園者の総数）									
	目標 （提案）	210000人	実績	176950人	未達成	要因	イベントシーズン時（特に、もみじ散策期間）においては、多くの入園者数を獲得できたが、暑さによる外出控えや旅行ツアーの減少等が影響し、目標未達。			
②各種事業の参加者数（参考）	▼ つつじ・しゃくなげ散策（概要：つつじ・しゃくなげの開花時期に合わせ、様々なイベントを開催）									
	目標 （R6）	23909人	実績	16515人	未達成	要因	イベント実施期間の短縮により、入園者数が減少。 ※R6年度は「森のさくら・つつじ・しゃくなげ散策」として開催（3/28～5/31）。R7年度については、従前の開催期間に戻して実施（4/19～5/25）。			
	▼ あじさい散策（概要：あじさいの開花時期に合わせ、様々なイベントを開催）									
	目標 （R6）	38145 千円	実績	35945人	未達成	要因	あじさいの見ごろの遅れや例年より早い梅雨明け（気温上昇）などが影響したことから、来園者数が伸びなやみ。			
	▼ もみじ散策（概要：もみじの開花時期に合わせ、様々なイベントを開催）									
	目標 （R6）	67621 千円	実績	74050人	達成	要因	ライトアップに加え、広報による効果などで認知度が上昇。若年層等も獲得できたことから、入園者数は増加。			
(3)収支状況										
①使用料収入	目標	29000 千円	実績	31884 千円	達成	要因	特に秋の紅葉シーズン（もみじ散策・ライトアップ）において、目標を上回る使用料収入を確保できたことを主因に、年間目標を超過。			
②収支バランス（税抜）	収入		186221 千円	支出		197401 千円	収支の差	-11180 千円	目標	達成
	内 訳	指定管理料	137918 千円	内 訳	人件費	86874 千円	その他	22875 千円	物価高騰等を背景とした費用面の嵩み（人件費、管理費、外注費等の増加）を主因に、収支マイナス。使用料収入は目標達成していることから、達成と判定。	
		自主事業	29781 千円		設備管理費	8616 千円				
		その他	18522 千円		外注費	55460 千円				
					イベント費	4538 千円				
					光熱水費	8266 千円				
					事務経費	10772 千円				

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年12月6日～令和8年1月17日(計43日間)				
	調査方法: 園内等の利用者に対して、調査員による聞き取り調査				
	回答者数: 70人				
	設問数: 18				
	主な質問項目: 施設の利用目的、利用回数、利用人数、利用時間、清掃状況、スタッフの対応、利用者満足度、自由意見				
②結果(満足度)	▼ 営業時間の満足度 (算出方法:「満足」から「不満」の5段階評価について、「満足」×2+「やや満足」×1.5+「普通」×1+「やや不満」×0.5)÷全回答数×100÷2で満足度を算出)				
	目標	82%	実績	84%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、季節のイベント開催時(つつじ・しゃくなげ、もみじ等)や繁忙期に併せて、臨時開園や開園時間延長を行ったことにより、多くの来園者に満足いただけたと推察される。				
	▼ 設備の状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	81%	未達成 要因
	目標を下回るも満足度が8割以上を占めていることから、日常点検を中心に四半期ごとの各種点検もきちんと実施されており、設備の維持管理を適切に履行できていたと推察される。				
	▼ 花壇等の整備・管理の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	88%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、日常管理に加え、各シーズン時(つつじ・しゃくなげ、もみじ等)においても来園者が満足できるよう、植物園にふさわしい植栽・樹林管理を適切に行っていたと推察される。				
	▼ 案内表示の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	89%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、ガイドマップの配布に加え、来園者への見ごろの植物やイベント情報などの案内を適宜案内・表示ができていたと推察される。				
	▼ 清掃状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	90%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、日々の清掃を中心に植物に囲まれた園内を綺麗に保てていたと推察される。				
	▼ スタッフの対応の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	89%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、各種研修の実施による職員の能力向上やお客様ニーズの把握(アンケート実施)により、満足度の高い接客ができていたと推察される。				
	▼ レストラン・物品販売の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標	82%	実績	82%	達成 要因
	満足度が8割以上を占めていることから、森のカフェ・雑貨店における季節ごとの特色あるメニューの提供等により、来園者に一定の満足度のある食事・物品販売ができていたと推察される。				
③主な意見・苦情、対応	管理運営に関する苦情等は特段なく、全体的に高い満足度を得ることができた。職員対応に力を入れており(各種研修による能力向上、アンケート実施など)、日々の業務の中で顧客満足度向上に向けた取り組みができていたと推察される。管理面においては、日常のモニタリングのほか、危険木伐採も行った。アンケートで、「霜柱が見られなかった」との意見があり、主要な見どころに加え、園内の多様な自然資源の魅力がお客様の関心を高めていることが窺える。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	45 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	45
(2)利用状況	25 点	0.8 (提案をやや下回る)	20
(3)収支状況	25 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	25
(4)満足度調査の結果等	5 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	5
評価点の合計			95 点
総合評価			A

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点

令和7年度 離宮公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	噴水施設を中心とした欧風庭園と花しょうぶ園などの和風庭園からなる本園と、四季おりおりの花木や草花が植栽され、一年中花を楽しむことができる鑑賞温室も構える植物園で、自然に触れることができる。
(2)事業内容	・離宮公園の理念「豊かな緑、四季に変化する多くの花木や草花を始め、恵まれた眺望や変化に富んだ造形美を生かし、潤いと安らぎのある市民の憩いの場(オアシス)をめざす」に則った、多様な事業展開 ・景観の骨格となる園内樹木を中長期的に維持・管理していくための緑地改善計画に基づいた植栽管理 ・梅園、ツツジ、ボタン園、花しょうぶ園、アジサイ園、もみじ林等、四季折々の開花や紅葉等、植物を楽しめる運営管理。特にバラ園の普及・啓発 ・レストラン、喫茶等の利便施設や子供の森、観賞温室等の施設の魅力アップや活用による利用者へのサービス提供
(3)施設内容	面積82.6ha（本園:17.80ha、植物園:5.22ha） 本園:噴水池(メインフォール、カスケード、キャナル、ファウンテン)、観賞芝生、花壇、バラ園、ツバキ園、花しょうぶ園、子供の森(アスレチック)、駐車場、レストハウス、売店等 植物園:観賞温室、栽培温室、花の庭園、梅園、もみじ林、アジサイ園、ボタン園、和室、和庭園、広場、滝(みどり滝、三段滝、もみじ滝)、駐車場等

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸須磨離宮グループ				
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間)				
(3)選定方法	非公募（非公募事由:専門的かつ高度な技術を有する者が客観的に特定される場合）				
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)	162,633,000円	(決算額)	164,976,468円	

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績								
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	以下のとおり実施しており、期待した水準を十分満たしている。 ・公園の景観に合わせた植栽管理及び年間を通して季節の花が楽しめる「花のリレー」を意識した植物管理（特に秋バラは紅葉時期にピークを迎えるよう、土壌づくりや品種に応じた夏剪定、病虫害駆除などを行い、良好な開花を達成） ・花の庭園等の花壇の充実(Living Nature Kobeを意識した植え替え) ・施設・設備の保守点検、修繕、清掃等(ゴミの持ち帰りを促すキャプションを新たに設置、人通りの多いベンチの更新等)									
②施設の運営業務	以下のとおり実施しており、期待した水準を十分満たしている。 ・植物を楽しめるイベントとして、春・秋バラ、花しょうぶ、もみじ鑑賞会、梅見会の開催 ・イベント開催による利用促進(ちゃぶちゃぶプール、夕涼み、月見の宴等) ・春・秋バラの時期やイベント時期の臨時開園、開園時間の延長									
③自主事業等	・神戸女子大学CP連携事業(イベント開催、イベントボランティア、潮見台カフェの営業 等) ・「RIKYU HONEY」の広報・普及・販路拡大(須磨浦公園駅売店での販売や、はちみつ茶葉園へかき氷シロップとしての提供)									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入園者数（算出方法:評価対象期間中の入園者の総数）									
	目標 (提案)	268000人	実績	246392人	未達成	要因	夏の気温上昇や、イベント時の天候不良、冬の子供の森の改修工事等により、目標には届かなかった。(昨年度より2万人以上増加)			
②各種事業の参加者数(参考)	▼「キッズダンス」(概要:ダンスをとおして、地域住民・子供たちとの親交を深めるイベント)									
	目標 (R6)	2488人	実績	2069人	未達成	要因	天候に恵まれた昨年と比べ、午前中の悪天候により参加者数が減少した。			
	▼「月見の宴」(概要:夜のお月見を近隣住民で集まって楽しむイベント)									
	目標 (R6)	1417人	実績	863人	未達成	要因	天候に恵まれた昨年と比べ、悪天候により参加者数が大幅に減少した。			
(3)収支状況										
①使用料収入	目標 (提案)	45000 千円	実績	49937 千円	達成	要因	入園者数の増加や、年間を通じて県内市外在住の高齢者を有料化(R6.10より有料化)したことに伴い、目標を超える収入となった。			
②収支バランス(税抜)	収入		195872 千円	支出		216984 千円	収支の差	-21112 千円	目標	達成
内 訳	指定管理料		149979 千円	内 訳	人件費		90768 千円	その他	44622 千円	人件費や物価高騰の影響により収支は赤字だが、自主事業による収入は昨年度から増加しており、使用料収入の目標も達成していることから、収支バランスの目標としては達成と判断。
	自主事業		36873 千円		維持管理費		18290 千円			
	その他		9020 千円		外注費		29864 千円			
					イベント費		10012 千円			
					光熱水費		20856 千円			
					事務費		2572 千円			

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年12月6日～令和8月1月17日(計43日間) 調査方法: 施設内の利用者に対して、調査員による聞き取り調査 回答者数: 70人 設問数: 計18問 主な質問項目: 施設の利用目的、利用回数、利用人数、利用時間、清掃状況、スタッフの対応、利用者満足度、自由意見				
②結果(満足度)	▼ 営業時間の満足度 (算出方法:「満足」から「不満」の5段階評価について、「満足」×2+「やや満足」×1.5+「普通」×1+「やや不満」×0.5)÷全回答数×100÷2で満足度を算出)				
	目標 (市)	82%	実績	88%	達成 要因 満足度が9割以上を占めていることから、植物の見頃や季節のイベントに併せて臨時開園や開園時間延長を行ったことで来園者に満足いただけたと推察される。
	▼ 設備の状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	79%	未達成 要因 目標を下回っているが、満足度が8割近くを占めていることから、設備の維持管理を適切に履行したものと推察される。
	▼ 花壇等の整備・管理の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	92%	達成 要因 満足度が9割以上を占めていることから、春・秋バラをはじめとする季節に応じた植栽の整備・管理を適切に履行したものと推察される。
	▼ 案内表示の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	85%	達成 要因 満足度が9割近くを占めていることから、園内の案内が適切に表示されていると推察される。
	▼ 清掃状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	88%	達成 要因 満足度が9割近くを占めていることから、自然に囲まれた広い園内を、適切に清掃できていると推察される。
	▼ スタッフの対応の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	86%	達成 要因 満足度が9割近くを占めていることから、職員研修の実施により、適切な接客ができていると推察される。
	▼ レストラン・物販販売の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	81%	未達成 要因 目標を下回っているが、満足度が8割以上を占めていることから、来園者に求められる食事・物販を提供できていると推察される。
③主な意見・苦情、対応	・根上がりによる段差が危ないとのこと意見があり、平らに整地した。 ・早朝の開園を希望する意見があり、春バラの見頃の時期に、早朝開園(8時開園)を実施した。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	45 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	45
(2)利用状況	25 点	0.8 (提案をやや下回る)	20
(3)収支状況	25 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	25
(4)満足度調査の結果等	5 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	5
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			
評価点の合計			95 点
総合評価			A

令和7年度 神戸市立海浜公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	須磨海岸に隣接した開放的な空間であることや、松林の景観や歴史的・文化的景勝のものであるという特色を活かし、市民利用やスポーツ、レクリエーションの場として将来にわたって利用してもらう。
(2)事業内容	海浜公園における管理運営・企画調整活動等の運営管理、園地・建物・設備の維持管理等。 他、(1)の設置目的を達成するため必要な事業。
(3)施設内容	面積4.8ha パークコンシェルジュ棟、トイレ棟等

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	須磨海浜公園パークマネジメント組織
(2)指定期間	令和5年9月1日から令和23年11月23日まで（18年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由:PFI 事業又はこれに準ずる事業により一定期間、施設の管理運営をする者を指定する場合）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)34,930,413円（決算額)34,869,361円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績													
(1)管理実施状況															
①施設の維持管理業務		24時間開放している公園として、来園者が快適に過ごせるよう、園地や建物の点検、植栽管理、設備の清掃等をこまめに行っており、期待した水準を満たす維持管理を行っている。													
②施設の運営業務		須磨海岸とも連携しながら、季節に応じた新規イベントを数多く企画・開催しており、期待した水準を満たす運営を行っている。													
③自主事業等		キッチンカーの営業時間の延長や新たなマルシェの開催、園内の松林を活用したイベント開催等により、来園者の満足度向上に努めている。													
(2)利用状況															
①施設の利用者数		▼ 入園者数（算出方法:水族館、ホテル、イベント参加者等人数の把握できるものに加え、各施設との関係性から公園のみの来園者を予測し計上）													
		目標 (提案)	3,900,000人	実績	3,942,078人	達成	要因	質の高い園地管理や、水族館とも連携した企画を実施したことにより、海開き時期を中心に多くの方が来園した。							
②各種事業の参加者数(参考)		▼ キッチンカー事業（概要:キッチンカーを誘致し、公園利用者の利便性向上を目指す）													
		目標 (提案)	14645人	実績	7170人	未達成	要因	水族館からの人の流れが少なく、座ってくつろぐことができる涼しい場所が近くにないため、利用される方が少ない。							
		▼ イベント事業（概要:園内で大型イベントや地域イベント、マルシェを開催し、賑わい創出を目指す）													
		目標 (提案)	46900人	実績	27046人	未達成	要因	事前の告知が不足している。 今後はSNS、WEB広告、チラシなど様々な媒体で、一か月以上前から告知を行う。							
(3)収支状況															
①使用料収入		目標 (R6)	710 千円	実績	513 千円	未達成	要因	キッチンカーやマルシェの行為許可使用料が大半を占めるが、須磨シーワールド開園初年度のR6に比べ、R7は出店数が少なかった。							
①利用料金収入		目標 (R6)	458 千円	実績	355 千円	未達成	要因	夏場の利用はR6よりも増えたものの、須磨ホールの供用開始(R5.9)から時間が経ち利用数も全体的に落ち着いた。							
②収支バランス(税込)		収入		49634 千円		支出		199836 千円		収支の差	-150202 千円	目標	達成		
		内 訳	指定管理料		34869 千円		内 訳	人件費		48309 千円		消耗品費	1559 千円	当初計画から、収支の赤字分は須磨シーワールド等の売上で補填する予定となっているため、目標としては達成と判定。	
			自主事業		14380 千円			警備費		55820 千円		維持管理費	18746 千円		
			その他		385 千円			清掃費		8902 千円		事務費	7889 千円		
								イベント費		47209 千円		その他	4507 千円		
								修繕費		1939 千円					
								光熱水費		4956 千円					

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年12月6日～令和8月1月17日(計43日間)				
	調査方法: 施設内の利用者に対して、調査員による聞き取り調査				
	回答者数: 70人				
	設問数: 計18問				
	主な質問項目: 施設の利用目的、利用回数、利用人数、利用時間、清掃状況、スタッフの対応、利用者満足度、自由意見				
②結果(満足度)	▼ 営業時間の満足度 (算出方法:「満足」から「不満」の5段階評価について、「満足」×2+「やや満足」×1.5+「普通」×1+「やや不満」×0.5)÷全回答数×100÷2で満足度を算出)				
	目標 (市)	82%	実績	75%	未達成 要因 満足度が7割以上を占めており、やや不満・不満の回答がないことから、営業時間について来園者に満足いただいていると推察される。
	▼ 設備の状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	72%	未達成 要因 満足度が7割以上を占めていることから、設備の維持管理を適切に履行したものと推察される。
	▼ 花壇等の整備・管理の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	75%	未達成 要因 満足度が7割以上を占めていることから、園内の整備・管理を適切に履行したものと推察される。
	▼ 案内表示の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	74%	未達成 要因 満足度が7割以上を占めていることから、園内をわかりやすく案内する表示ができていると推察される。
	▼ 清掃状況の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	76%	未達成 要因 満足度が8割近くを占めていることから、園内を気持ちよく利用いただける適切な清掃ができていると推察される。
	▼ スタッフの対応の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	82%	実績	77%	未達成 要因 満足度が8割近くを占めており、やや不満・不満の回答がないことから、満足度の高い接客ができていると推察される。
③主な意見・苦情、対応	▼ レストラン・物品販売の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (市)	78%	実績	69%	未達成 要因 満足度が7割近くを占めており、やや不満・不満の回答がないことから、食事・物販を適切に提供できていると推察される。
・ごみが落ちているのが気になる等、清掃に関する意見があり、巡回時の清掃を強化した。 ・椅子が少ないとの意見があり、仮設の机と椅子を追加で購入し、状況に応じて設置している。					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	50 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	50
(2)利用状況	20 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	20
(3)収支状況	25 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	25
(4)満足度調査の結果等	5 点	0.8 (提案をやや下回る)	4
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			評価点の合計 99 点
			総合評価 A

1. 施設概要

2. 指定管理に関する基本情報

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績													
(1)管理実施状況															
①施設の維持管理業務		広大な園地における施設管理や植栽管理、および施設、設備の修繕、点検、清掃等について、いずれも期待した水準を十分に満たす維持管理を行っている。													
②施設の運営業務		しあわせの村の総合的なマネジメントや各施設の運営、利用料金の徴収、イベント実施による公園内の活性化など、いずれも期待される水準を十分に満たす運営を行っている。													
③自主事業等		芝生広場での手持ち花火大会や避暑を目的とした水鉄砲大会、運動広場での陸上記録会、GWホースフェスタ、ミズノスポーツチャレンジといった新規イベントを実施し、子育て世帯をはじめとする来村者の満足度向上およびにぎわい創出を図った。													
(2)利用状況															
①施設の利用者数		▼ 入館者数(建設局所管施設(あおぞら、キャンプ場、温泉健康センター、運動広場、球技場、テニスコート、アーチェリー場)について算出)													
目標 (提案)	(建設局所管) 730,900人 (全体) 840,600人	実績	(建設局所管) 689,594人 (全体) 809,530人	未達成	要因	天井工事に伴うプールの休業(12月1日～3月15日)のほか、週末の天候不順や猛暑・寒波などの気温の影響により利用者が減少したため									
②各種事業の参加者数		▼ しあわせの村まつり (概要: 村内事業者や近隣自治会と連携し、縁日や手持ち花火、ステージイベントなどを通じて市民の交流を促すイベント)													
		目標 (R6)	14,000人	実績	12,300人	未達成	要因	1日目の天候不良(曇り・強風)のため							
		▼ 障害者向けスポーツ教室 (概要: 身体障がい児・者、知的障がい児・者を対象とした水泳、卓球、テニス、アーチェリー等のスポーツ教室)													
		目標 (R6)	267人	実績	254人	未達成	要因	プール教室の定員を見直したため(16名又は15名を12名に変更)							
		▼ 高齢者向けスポーツ教室 (概要: 高齢者を対象とした、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ教室)													
目標 (R6)	922人	実績	956人	達成	要因	テニスの参加者数増加、およびニュースポーツの開催日程増加のため									
(3)収支状況															
①利用料金収入		目標 (提案)	(建設局所管) 236,307千円 (全体) 437,233千円	実績	(建設局所管) 212,305千円 (全体) 387,327千円	未達成	要因	プールの休業に加え、週末の天候不順や猛暑・寒波などの気温の影響により、目標を下回る収入となった。							
②収支バランス(税込)		収入		2737440 千円		支出		2665202 千円		収支の差		72238 千円		目標	達成
内 訳	指定管理料	1328739 千円		内 訳	人件費	578124 千円		備品費	9137 千円		プール休業や天候不順により利用料金収入は目標を下回っているものの、収支は黒字となっており、目標としては達成と判断。				
	利用料金	387326 千円			警備費	96691 千円		消耗品費	21118 千円						
	自主事業	1021375 千円			清掃費	76299 千円		講師謝礼等	33564 千円						
					設備管理費	150950 千円		印刷費等	3449 千円						
					修繕費	99771 千円		園地管理費	111211 千円						
					光熱水費	269422 千円		その他	1215466 千円						

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和8年3月16日～4月5日(計21日間) 調査方法: WEBフォームによる回答(アクセスコードをポスター掲示、窓口でリーフレット配布) 回答者数: 638件 設問数: 11問 主な質問項目: 来村者の属性、来村目的、公園/緑地・利用料金・接客対応・施設/設備の満足度、村の良い点・悪い点				
②結果(満足度)	▼ 公園/緑地の満足度 (算出方法: 5段階方式の択一式で行ったアンケート調査を100点満点で数値化。)				
	目標 (R6)	87%	実績	89%	達成 要因 満足度が9割近くを占めていることから、緑が多く景色や環境が良いことや、樹木や花々が綺麗に手入れされていること、子どもがのびのび遊べる空間であるため満足度が高いと推察される。
	▼ 施設の利用料金の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (R6)	79%	実績	81%	達成 要因 満足度が8割以上を占めていることから、他地域・他施設と比較して全体的に割安であること、子育て世帯の駐車料金無料や高齢者や障がい者は割引適用があるため満足度が高いと推察される。
	▼ 接客対応の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (R6)	78%	実績	79%	達成 要因 満足度が8割近くを占めていることから、親切で丁寧な接客ができていると推察される。
	▼ 施設設備の満足度 (算出方法: 同上)				
	目標 (R6)	75%	実績	73%	未達成 要因 満足度が7割程度であり、施設・設備の老朽化や、雨天時に利用できる休憩スペースが不足していることが課題であると推察される。
③主な意見・苦情、対応	・歩行困難者による利便性についてご意見があり、朝食バイキングを利用しやすいように本館2階レストラン「グリーンビレッジ」にバイキングカートを新規配備した。 ・園内設備の利便性についてご意見があり、プールシャワー利用中に小物を仮置きできる小物入れを設置(5月)、温泉健康センター正面玄関の傘立てを更新(6月) ・施設の老朽化についてご意見があり、令和7年度は、利用者からのご意見を受け、本館・宿泊館ロビー照明のLED化(「空間が暗く陰気な印象である」との指摘への対応)および温泉健康センタープール更衣室のロッカー全面更新を実施した。 ・陸上競技場(多目的運動広場)の芝生フィールドについて、芝生養生のため週3日の供用としているが、優先利用で予約が埋まり、一般枠が少ないとのご意見があり、12月～2月の期間において、月に2回程度、週4日へと供用日を試行的に拡大した。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算		評価点 (A×B)	
(1)管理実施状況	55 点	1.0	(ほぼ提案どおり)	55	
(2)利用状況	20 点	0.8	(提案をやや下回る)	16	
(3)収支状況	20 点	1.0	(ほぼ提案どおり)	20	
(4)満足度調査の結果等	5 点	1.0	(ほぼ提案どおり)	5	
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点				評価点の合計	96 点
				総合評価	A